

自動車事故報告書の記載要領

【重要】

事故報告書は事実に基づき記入してください。事実と異なる記入をされた場合には、虚偽の報告となる場合があります。

報告を提出する時点の国土交通大臣の名前を記入する

事故発生日時、場所及びその時の天候を記入（選択）する

イ. 時間は24時間制で記入する

ロ. 場所は、地番まで記入する

高速道路の場合は「上り線」「下り線」の区分と〇〇k pを記入する

ハ. 道路名は、国道、県道、市道など具体的に記入する。高速道路の場合は、その名称も記入する。

自動車検査証の「使用者の氏名又は名称」、「使用の本拠の位置」欄を記入する

記載例

当社〇〇営業所の運転者〇〇〇〇は、平成〇〇年〇〇月〇〇日午前〇〇時〇〇分出社し、始業点呼を受け123号車で〇〇時〇〇分に出庫した。〇〇配送センターにて〇〇を積み、〇〇株式会社へ向けて出庫、2回の休憩を経て〇〇時〇〇分頃に当該地点の交差点に差しかった。右折するため対向車が通り過ぎるのを待って右折を開始したが、横断歩道付近を通り過ぎた時、車体が不自然に揺れたため確認したところ、自転車を後輪で巻き込み転倒させ骨折する負傷を負わせた。

相手方 〇〇〇〇（〇〇才） 重傷（両足骨折）

警察、家族、会社等への連絡、死者又は負傷者に取った処置、病院への収容状況、旅客、積荷等の処置を記入する

警察の調書、運転者及び目撃者の証言等を参考に記入する（なるべく簡潔に、明確に）

事業者（使用者）の事故に対する再発防止についての取組について具体的に記入する

別記様式（第3条関係）

（表）

自動車事故報告書						
国土交通大臣 殿 自動車の使用者の氏名又は名称 住 所 電話番号 年 月 日 提出						
☆発生日時	年	月	日	時	分	☆路線名又は道路名 道 線
天 候	1 晴れ	2 曇	3 雨	4 雪	5 霧	
☆発生場所	都道府県	区市郡	区町村	番地		
☆当該自動車の使用の本拠の名称及び位置						☆自動車登録番号又は車両番号
☆当時の状況						トラクタ、トレーラの場合は2段書きとし、「上段」にトラクタ、「下段」にトレーラとする
☆◆現場の略図（道路上の事故の場合には車線の区分を明らかにして図示すること。）						
別紙記載要領に記載例有り（A）						
☆当時の処置						
☆事故の原因						
☆再発防止対策						
※備考						

事故報告書は3部、その自動車の使用の本拠の位置を管轄する運輸支局を経由して提出してください。（提出者控えを含めると4部必要です。）

（日本工業規格A列4番）

運転者、乗客、車掌等の合計を記入する

別紙記載要領に記載例有り (B)

トラック事業者からの運送の依頼により貨物運送を行った場合には「1」を、それ以外は「2」を○で囲む

「交替運転者の配置」は、運転を交替するための者が当該自動車に同乗しているか否とにかかわらず、当該運行計画において、運転を交替する者が配置されている場合は「有」とし、それ以外は「無」とする。

なお、交替運転者が運転を交替した後に事故があった場合は、当該運転者が運転を交替してから事故発生までの乗務キロ数を記載する。

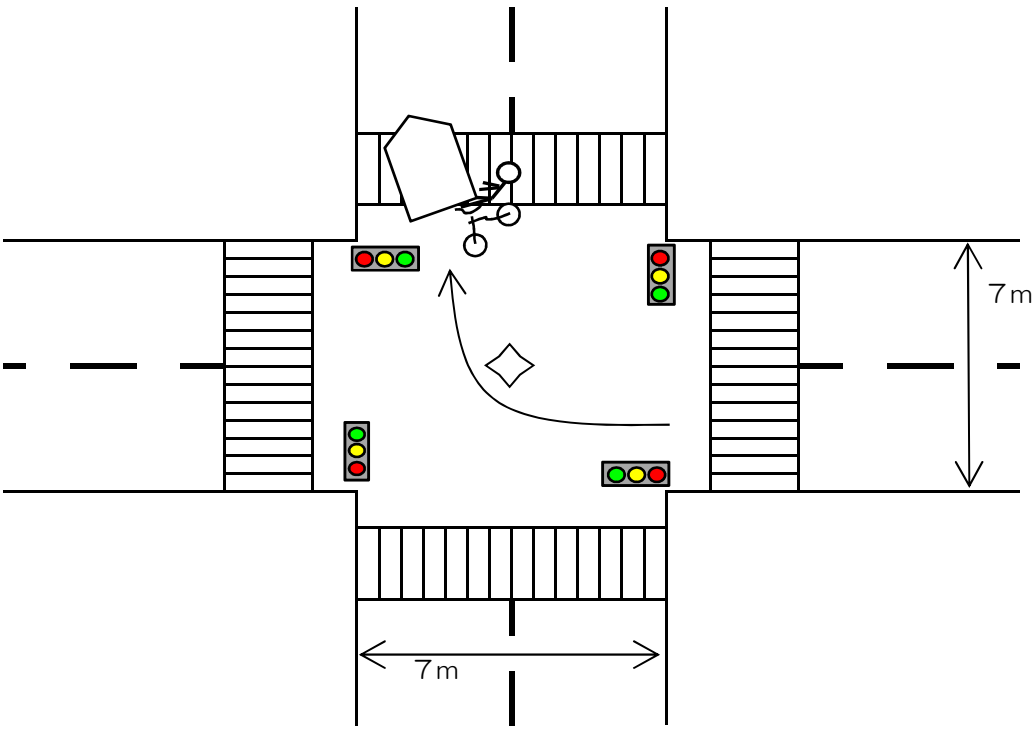
「死亡」とは、当該事故発生後24時間以内に死亡したものを指す。

◆印欄は、事故が自動車事故報告規則第2条第11号及び第12号（車両故障）のみに該当する場合には、記入は不要です。

		(裏)																	
事故の種別	区分	転覆	転落	路外逸脱	火災	踏切	衝突	死傷	危険物等	車内	飲酒	健康原因	救護違反	車両故障	交通障害	その他	☆ 危険認知時の速度 km/h	☆ 危険認知時の距離 m	☆ スリップ距離 m
	☆ 発生の順																		
当時は状況	☆ 転落の状態	落差				m		水深				m				当該自動車の事故時の走行等の態様	1 直進（加速） 4 後退 7 左折 10 右回	2 直進（減速） 5 追越 8 駐車 11 合流	3 直進（定速） 6 右折 9 停車 12 その他
	☆ 衝突等の状態	1 正面衝突 4 接触		2 側面衝突 5 物件衝突		3 追突										道路上で事故の場合には事故発生地点	1 車道 2 歩道	5 路肩 7 バス停留所 9 その他	3 横断歩道
概要	☆ 車名	☆ 型式		☆ 車体の形状		☆ 初度登録年又は初度検査年										死傷事故の場合には死傷者の状態	1 左側通行 3 信号無視 5 歩道通行 7 車の直前横断 9 飛び出し 11 路上作業 13 乗降中 15 自転車運転	2 右側通行 4 車道通行 6 横断歩道歩行 8 斜横断 10 酷晒 12 路上遊戯 14 安全地帯 16 その他	
	事業用	1 乗合旅客 3 利用旅客 5 一般貨物（イ特別積合せ貨物 ロその他） 6 特定貨物		2 貸切旅客 4 特定旅客 7 特定第二種												車両の故障に起因する場合は故障箇所	1 原動機（速度抑制装置を除く） 3 動力伝達装置 6 軸荷重 10 燃料装置 13 寒気装置 18 ガラス 18 灯・電等の発散防止装置 19 灯火装置及び指示装置	2 速度抑制装置 4 車輪（タイヤを除く） 7 制動装置 9 緩衝装置 11 電気装置 14 乗車装置 17 警音止装置 21 警音器 22 視野を確保する装置（後视镜、窓ふき器等） 23 計器（速度計、走行距離計等） 25 内付容器及びその附属装置 27 その他	2 速度抑制装置 4 車輪（タイヤを除く） 7 制動装置 9 緩衝装置 12 車枠及び車体 15 物品積載装置
自動車	☆ 自家用	1 有償貸渡し（レンタカー） 2 有償旅客運送		3 その他												☆ 種別	1 普通 2 小型 3 その他		
	☆ 乗車定員	人		☆ 当時の乗車人員		人										☆ 最大積重量	kg	kg	
必要	許可等の必要性	制限外許可 特殊車両通行許可 保安基準の緩和		1 有 1 有 1 有		2 無 2 無 2 無										許可等の取得状況	制限外許可 特殊車両通行許可 保安基準の緩和	1 有 1 有 1 有	
	許可等の取得状況	制限外許可 特殊車両通行許可 保安基準の緩和		1 有 1 有 1 有		2 無 2 無 2 無										貨物の内容	1 土砂等 4 生コンクリート 7 原木、製材	2 長大物品等 5 危険物等 8 引越	3 コンテナ 6 冷蔵、冷凍品 9 その他
道路	積載危険物等	運輸の有無	1 有 2 無		2 無										種類	1 危険物 4 樓	2 火薬類 5 R I 6 毒劇物	3 高圧ガス 7 可燃物 8 Bq	
	☆ 品名及び積載量又は放射能の量	品名		() kg、l		() Bq								☆ 種別	1 道路（イ高速自動車国道 ロ自動車専用道路等 ハその他） 2 その他の場所				
状況	☆ 道路の幅員	m												こう配	1 平たん 4 直線 4 交差	2 上り 2 右曲り 5 つづら折り	3 下り 3 左曲り		
	路面の状態	1 乾 2 ぬれ 3 凍雪		2 氷 3 積雪		4 氷結								警告機置の設置	1 有 2 無	☆ 当該道路の制限速度	km/h		
営業所及び運行等の状況	☆ 発着地の状況	1 遮断機付き 3 その他		2 警報機付き										☆ 運行計画	(発地・経由地・着地)				
	☆ 立寄施設の相手方の氏名又は名称、住所等（貸切旅客のみ）	安全性優良事業所の認定（貨物のみ）		1 有 2 無										☆ 運送形態	1 下請運送	2 その他			
※事業者番号	☆ 寄附人の氏名又は名称及び住所													☆ 寄受人の氏名又は名称及び住所					
	☆ 再発防止対策													☆ 損害の程度	◆ 死亡 ◆ 重傷 軽傷	人（うち乗客） 人（うち乗客） 人（うち乗客）			

※別紙記載要領

記入例A【（表）面 「現場の略図」】



※ 略図の最低記載事項
事故時の自動車、歩行者等の位置関係及び進行方向、歩道、車道（幅員明記のこと）、横断歩道の位置明記、道路標識、一時停止線の位置及び内容明記

記入例B【（裏）面 「当時の運行計画」】

〇〇営業所 ～ 〇〇配送センター ～ 国道3号線 ～ 〇〇株式会社 ～ 国道3号線 ～		
08:30 発	09:20 着	13:00 着
	10:20 発	14:00 発
〇〇営業所		
16:20 着		